

教科	国語	科目	国語表現	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・2年	国語表現（大修館書店）
副教材	国語表現基礎練習ノート（大修館書店）、常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）、基点現代文ゼミⅡ（浜島書店）					
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、その知識を身に付けているかを評価する。 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、適切な表現や言葉遣いのできたかを評価する。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて話したり、的確に聞き取れるかを評価する。 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書けるかを評価する。	国語や言語文化に関心を持ち、自らの言語活動を豊かにするために、積極的に学習に取り組むことができたかを評価する。
・定期試験 ・課題の取り組み状況	・定期試験 ・作文、レポートなどの内容 ・授業時の発表内容・発表態度	・ノート、課題等の提出状況 ・授業における態度、意欲
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表への取り組み、課題の提出、確認テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	1 言葉と出会う 言葉と表記 整った文を書く 相手に応じた言葉遣い	10	3 小論文・レポート入門 小論文とは何か 反論を想定して書く
5	わかりやすい文を書く 文のつなぎ方	11	文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 期末試験
6	表現を楽しむ 言葉で遊ぶ、無人島で生き残れ	12	レポートを書く
7	2 伝える・伝え合う 言葉のストレッチ体操 絵や写真を見て書く 期末試験	1	
9	表現を楽しむ 「わが町自慢」のパンフレット作り	2	表現を楽しむ 働く人にインタビュー 学年末試験
		3	

担当者からのメッセージ及び特色	
1 授業	日本語の語彙力、ことばによる表現力を身に付け、言葉を自由自在に使えるようになることを目的としている。情報を活用し、実社会で生きる上で必要とされる表現力を身に付ける。
2 家庭では	論理的思考力の向上のため、書物や新聞、ニュース番組などを通して自らの疑問点を明確にし、問題意識を持って授業に臨むとよい。
3 特色	ことばの基礎力向上のために、漢字学習を大切にしている。副教材を用いた学習、定期試験での確認を通して、読解力を養成する。また、商業高校の生徒として、実社会へ巣立つことを念頭に置き、正しい日本語表現によって話すこと、書くことに留意させている。